

LIFE WITH GREEN

HANSHIN ENGEI *Story*

vol.05

[contents.01] 笑顔の咲く天然芝の校庭

施設管理部 田中智子さん / デザイン室 鈴木園子さん

[contents.02] 大阪を花で彩る「花飾りPROJECT」とは!?

[contents.03] 現場だより。-施設管理部のお仕事-



今日もこの街のどこかで、
阪神園芸の仕事が芽吹いている



LIFE WITH GREEN

HANSHIN ENGEI *Story*

Story 5

笑顔の咲く天然芝の校庭。

施設管理部 / 営業部・デザイン室

施設管理部の現場は多岐にわたるが、中でも「好文学園女子高等学校」での植栽管理は少し特殊だ。

まず校門をくぐってすぐそのみどりの多さに圧倒された。校門のすぐ側には芝桜の中にウッドチェアが置かれ、校舎にぐりと囲まれた校庭は一面の天然芝。校舎から体育館へ向かう道には、色とりどりの花とみどりに囲まれた庭園も整備されていて、まるで植物公園だ。

「こちらの学園さんとは“共同”で植栽管理をさせていただいているんです。先生と生徒さんたちで“エコ緑化委員”をつくって

いるんですが、芝刈りは先生が、除草や水やり、肥料散布などは学生さんを中心に行なってくださるなど、とても緑化に力を入れているんです」。そう話すのは笑顔がチャームな施設管理部の田中智子さんだ。

特に、天然芝の校庭は生徒たちの憩いの場。気候の良い時季は、お昼休みにレジャーシートを広げてお弁当を食べたり、放課後にバドミントンをしたりして楽しんでいるそう。

「こんな素敵な校庭で高校生活を過ごせるのは羨ましくもありますね」と田中さん。

なぜこのように緑化に力を入れているのか、延原観司理事長にお話を聞くことができた。



2019年に復旧、再構築した庭園

環境が気持ちを明るくする

「2007年にこの学園の理事長に就任したんですが、そのとき校庭は土のグラウンドで、放課後の部活の時間以外は誰も校庭に遊びに出ない。学園を見回しても多少の木々はあるけれど、花はないですし、とても殺風景だったんです。本校は女子校ですし、学生のメンタルヘルスにも力を入れていこうとしていましたので、思い切って緑化を行うことにしたんです」と延原理事長。「花とみどりと音楽と」をキャッチフレーズに、生徒たちが憩えるみどりと花のスポットを作りたいと阪神園芸の知恵を借りました。

校庭は一面天然芝にすべく、教員や生徒と一緒に芝の種を蒔いたという。それをきっかけにエコ緑化委員が立ち上がり、除草や肥料散布、水やりも教員と生徒で積極的に行なっているそうだ。

それから15年ちょっと。池や庭園、ビオトープなどの増設も進み、学園内のみどりは格段に増えた。「環境が良いと気持ちが明るくなる、前向きになるというのは間違いないので、この緑化が本校の生徒、学園全体に与えている影響は極めて大きいと思います」と理事長。



学園緑化について話す
延原理事長



植栽の剪定、刈り込み、除草のほか、
芝の管理も仕事のひとつ



施設管理部
田中智子さん



新しく整備されたビオトープ。
メダカがのびのびと泳ぐ。



1年中芝生のみどりを保つた
ための冬芝の種まきや、根の
発育をよくするための穴あけ、
不陸をなくすための砂まき
など業務は多岐にわたる。



デザイン室
鈴木園子さん

みんなが癒される場をつくりたい

また、数年前に移設・再整備した庭園には、デザイン室も深く関わっている。

「この庭園は2015年に卒業記念で寄贈されたものなんです。それが新校舎の建築にあたって、一部資材置き場になっていたこともあり、2019年に復旧・再構築することになって」。そう話すのはデザイン室の鈴木園子さんだ。「森の中を散歩しているような、そして日常を少し離れてみどりの中でくつろいでいただけるようなイメージでつくらせていただきました。また、みどりが増えたことでトンボがよく来るようになったからと、卵を産めるビオトープをつくらせてもらったり。生徒さんたちに楽しく使っ

てもらえていたら嬉しいです」と笑う。

管理に入っている田中さんも「去年、校庭にひまわりを植えさせてもらったとき、先生から“きれいに咲いたよ!”と写真を送っていただいたこともありました。みなさんに喜んでいただけるととてもやりがいを感じます。大学が建築学科だったので、建物が映えるという面でもみどりはとても大事だと感じていますし、そして何より癒される。私も癒されながら毎日仕事しています。今後もみどりを取り入れつつ、みなさんがほっとできる憩いの場をつくれたらと思います」。そう、大輪の笑顔で答えてくれた。

阪神園芸 TOPiCS

大阪・関西万博期間中における花飾り業務委託
**通称：花飾りPROJECTが
スタート！**



この人に
聞きました！



阪神園芸株式会社 デザイン室
浅尾 菜里さん

花飾りPROJECTとは…

設置期間 2025.4.13日 - 10.13日

2025年大阪・関西万博期間中、国内外から訪れる多くの来阪者を花や緑でお出迎えし、万博開催を盛り上げるために大阪市内の主要エリア7か所(大阪、新大阪、中之島、鶴見緑地、大阪城公園、天王寺、桜島)をおよそ5万株の草花で彩ります。

大阪市の主要7エリアを 約5万株の花々で彩るプロジェクト！

2025年10月13日まで大阪市・夢洲で開催される「2025年大阪・関西万博」の期間中、全国各地から来阪されるお客様をたくさんの花々でお出迎えするために「花飾りPROJECT」がスタートしました。

本プロジェクトは大阪市が“公募型プロポーザル”にて企画提案を募集し、阪神園芸が優れた提案として選定、特に植栽デザインについて評価されました。

また選定後は、約半年間に及ぶ開催期間中に途切れることなく美しいお花でお出迎えできるよう、様々な準備や実験実施。デザイン企画・運営はもちろん、期間中の花壇やプランターの日々のメンテナンスも、阪神園芸が担当しています。

今号は「花飾りPROJECT」の注目ポイントや製作秘話について、企画・SNS担当であるデザイン室の浅尾さんに教えてもらいました。

TOPIC

01

約2ヶ月の実証実験で プランターと土壌を選定

本プロジェクトの1番の脅威は、近年の厳しい夏の暑さ。通常のプランターだと美しい花を保つため毎日の水やりが必須です。そこで『底面給水システム』を搭載したプランターを採用し、美しい花を保ちながら、管理作業の省力化や効率化を図りました。また、2024年8月から10月中旬にかけて、実際のプランターを使用した実証実験を実施。相性の良かったリサイクル土壌をセレクトしました。

底面給水システム

底面給水タンクから給水布が水を吸い上げる「毛细管現象」で土壌を常に潤します。



府内産材の化粧枠

万博会場の「大屋根リング」をモチーフに、府内産スギ材で約300基のプランター化粧枠を製作。



TOPIC

02

企業様のご協力による おもてなし花壇も

企業のご寄付による「おもてなし花壇(スポンサー花壇)」の設置プロジェクトも実施。88社の方にご協力いただきました。ご寄付いただいた花壇は、JR大阪駅南側歩道、および阪神梅田本店北側歩道上、あべのハルカス西側歩道上に設置させていただいています。



TOPIC

03

季節ごとに変わる テーマカラー

スタート時は万博カラーの赤・青・白をテーマカラーに、花壇やプランターをコーディネート。その後も5月は青・緑・黄緑、夏季は青・水色・紫と、季節に応じたカラーで植え替えます。フィナーレは黄・橙・赤で花壇を染める予定です。お楽しみに！



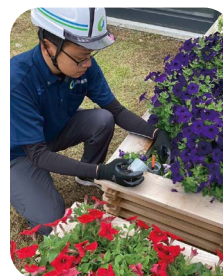
NEW

TOPIC

04

施設管理部のスタッフが 日々の管理を担当

大阪市内各所に設置された花壇の管理は、阪神園芸の施設管理部が担当。タンクへの給水、花がら摘み、植栽の状態チェック等、毎日の巡回は大変ですが、美しい花を保つために頑張っています！



プロジェクトの 展開7エリア PROJECT AREA

01 大阪 マルビル大阪・関西万博バスターミナル付近

阪神梅田本店西側の歩道上に約50基のプランター花飾りを設置しました。
注目は約596個の多肉植物で装飾した顔出しパネル。



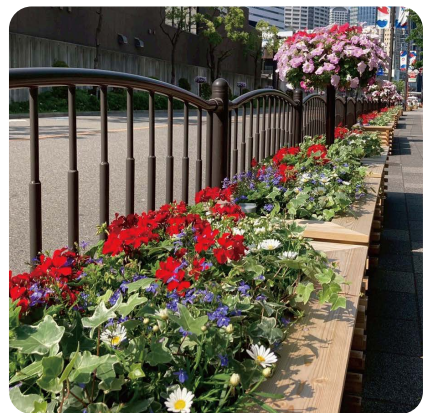
パネル周りには
多肉植物が
ぎっしり!



02 中之島 京阪中之島シャトルバスのりば

※大阪・関西万博会場直通シャトルバス発着駅

玉江橋南詰交差点からリーガロイヤルホテル大阪にかけて約100基設置。フラワースタンドが立体感を出しています。



03 新大阪 阪急高速バス新大阪ターミナル

※大阪・関西万博会場直通シャトルバス発着駅

約100mにわたり、約70基のプランター花飾りを設置。大阪メトロ2番出口からがおすすです。



04 天王寺 近鉄バスあべの橋停留所

※大阪・関西万博会場直通シャトルバス発着駅



「あべのハルカス」北側と西側歩道上に約30基のプランター花飾りを設置しました。阿倍野歩道橋からもご覧いただけます。

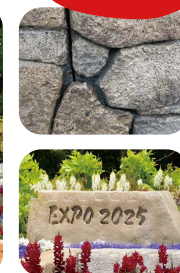
本プロジェクトでは単純に花壇を多数設置するだけでなく、皆様楽しんでいただけるような工夫を施しました。大阪や桜島、大阪城公園、鶴見緑地は大型の造作のフォトスポットを設置。鶴見緑地には市民の皆様と植え付けた花壇も。それぞれ個性豊かな花壇ばかりなので、ぜひチェックしてみてください。

実は本物の石を
一切使っていません!

05 大阪城公園

大阪城公園・森ノ宮駅・噴水広場付近

ミャクミャクと撮影できる大花壇は、大阪城の城壁を模した花壇枠や「残念石」をモチーフにした台座に注目! 実は、職人が発泡スチロールを切り出し、モルタルを塗り重ねて本物そっくりに着色して仕上げています。



子どもから大人まで
約20名の方にご参加いただき、
一緒に714株の
お花を植えました。



06 鶴見緑地

鶴見緑地駅 駅前広場
サンクンガーデン

ミャクミャクと撮影できる直径7メートルの大花壇があります。直径5メートルの「おもてなし花壇」は、2025年4月上旬に市民の皆様と植え付けました。

07 桜島

桜島北公園・桜島駅・桜島バスターミナル

※大阪・関西万博会場直通シャトルバス発着駅

JR桜島駅からシャトルバス入場ゲートまでの歩道上に約30基のプランター花飾りを設置します! 桜島北公園の巨大な花文字「EXPO2025」が万博会場への期待感や高揚感を演出します。



高さ1.8メートル、
幅15メートルと迫力満点!

最新情報や
イベント申込は
こちらから!

花壇の植え替え情報やイベントのお知らせは、特設サイトもしくはinstagramでチェックを。

大阪市 特設サイト

<https://www.hanshinengei.co.jp/hanakazari/>



公式 instagram

@hanakazari2025



現場
だより

施設管理部

大阪市内主要7エリアに点在する花壇を、毎日管理している施設管理部の葉さん、坂本さん、現場からお願いします！



葉さん

坂本さん

はい！
現場の
葉と坂本
です！



大阪市の主要7エリアを約5万株の花々で彩る
「花飾りPROJECT」開催中！
施設管理部が日々の管理を担当しています！

「2025年大阪・関西万博」期間中、国内外から訪れる多くの来阪者を花や緑でお出迎えし、万博開催を盛り上げるために、

大阪市内の主要エリア7か所

(大阪、新大阪、中之島、鶴見緑地、大阪城公園、天王寺、桜島)を約5万株の草花で彩っています。

花壇の管理は私たち施設管理部が担当。

タンクへの給水や花がら摘み、植栽やシステムの状態チェック等、毎日スタッフが立ち寄って手入れを行なっています。

ぜひ、お近くにお越しの際はお立ち寄りください。



阪神園芸株式会社

本 社 〒663-8165 兵庫県西宮市甲子園浦風町16番24号
TEL.0798-47-3538 FAX.0798-41-4116
URL <https://www.hanshinengei.co.jp/>

大 阪 支 店 〒567-0884 大阪府茨木市新庄町14番17号
TEL.072-630-0161 FAX.072-630-0171

東 京 支 店 〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目24番14号
TEL.03-6404-6236 FAX.03-5767-6593



阪神園芸

2025年7月発行